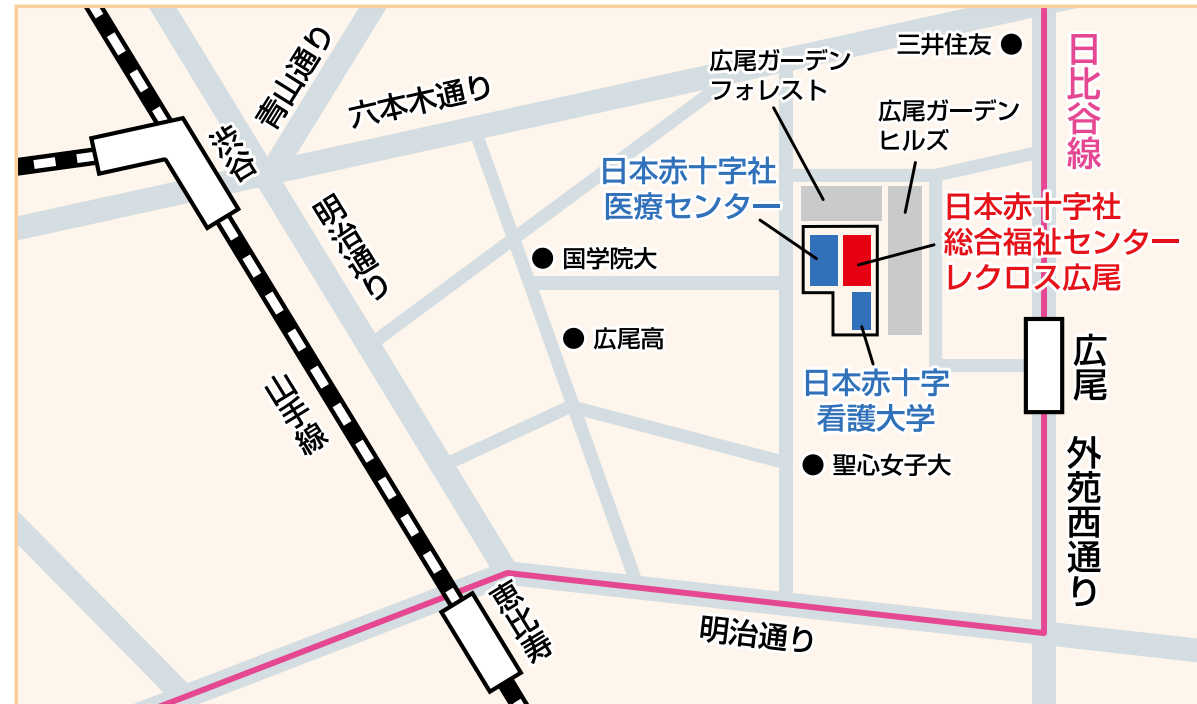


## 案内図



都営バス	渋谷駅東口から「学03」系統：日赤医療センター行き終点(約8分) 恵比寿駅西口から「学06」系統：日赤医療センター行き終点(約7分)
東京メトロ日比谷線	広尾駅3番出口から徒歩(約15分)

## お問い合わせ

日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾

東京都渋谷区広尾四丁目1番23号

電話：03-6861-4800 FAX:03-6861-4810

MAIL: [hiroo@hiroo.jrc.or.jp](mailto:hiroo@hiroo.jrc.or.jp)

※メールの場合は、件名に必ず「施設問合せ」と入力して送信下さい。

URL: <http://hiroo.jrc.or.jp>



## 施設利用のご案内



日本赤十字社総合福祉センター  
介護老人保健施設  
レクロス広尾



## 日本赤十字社の使命

私たちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## 日本赤十字社総合福祉センターの基本理念

赤十字の基本原則である「人道」の精神にのっとり、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## 日本赤十字社総合福祉センターの運営基本方針

- [1] 一人ひとりを大切に、利用者の視点に立った安心・安全なサービスを提供します。
- [2] 家族・地域社会との連携を図り、地域福祉の向上に努めます。
- [3] 保健、医療、看護、福祉の各種サービスの一体的な提供に努めます。



「レクロス広尾」は、「赤十字」の英訳である Red Cross(レッドクロス)を略して、Re(レ)と Cross(クロス)で「レクロス」となりました。  
(レ)は再建、(クロス)は「お役に立ちたい」という意味を含みます。

# サービスのご案内

### 安心・安全の「食」の提供

- 皆さんの「食」に対する嗜好について栄養士が定期的に、調査を実施して対応します。
- 昼食は2種類から選べる食事、季節感あふれる食事を提供します。
- 皆さんの心身の状態に配慮して、幅を持たせた食事の時間を設定するなど個別対応を行います。
- 医師の指示による療養食の提供を行います。



### 入所者専用のリハビリテーションエリア(1階)

- 日常生活の中で在宅での生活へ徐々に適応できるように、入所者の状態に合わせて支援します。
- 1階の入所者専用リハビリテーションエリアでは、医師・機能訓練士の指示のもと、皆さんの状況に応じたリハビリを提供します。



### 地域の方々との交流を通じて、福祉施設への理解を深める

- 地域交流ホール等では、介護教室や地域交流事業などを開催します。
- 地域の皆さんを交えた行事の開催や、近隣のサークル活動の「場」として提供します。
- 地域で開催する催事へ積極的に参加して、福祉施設の理解につなげられるよう努めます。

### 個人やグループでの活動の場を提供

- 個人の嗜好にあわせた趣味の活動、クラブ活動やボランティアによる活動を提供します。
- 在宅生活に適応できるよう、皆さんの保持する能力を引き出せるような活動を提供します。



# 介護老人保健施設

## 日本赤十字社総合福祉センター 介護老人保健施設 レクロス広尾 運営方針

- [1] リハビリテーションを強化し、在宅復帰、在宅療養支援のための地域拠点となることを目指します。
- [2] 利用者の有する生活機能の維持・向上を目指して、医療、看護、介護、リハビリテーションを一体的に提供します。
- [3] 職員の資質の向上を図り、利用者の尊厳を守るとともに、良質かつ安心・安全なサービスの提供に努めます。
- [4] 地域の医療機関や他の医療・介護施設と連携し、医療介護のネットワークの拡大に努め、地域の健康度の向上に貢献します。

## 施設サービス

- 定員：100人（ショートステイは空室利用）
- 病状が安定していて病院での入院治療の必要がない要介護1～5の方で、リハビリテーションを必要とされる方が対象となります。
- 4階では1グループ10人の全室個室による家庭的なケアを提供します。  
3階では1グループ15人の4人部屋と個室を組み合わせた家庭的なケアを行います。

### その人の「自立」「在宅復帰」を促進する居住空間（療養室）



### 四季を彩る緑に囲まれた環境を確保

- 1階は、桜を中心とした季節感あふれるバルコニー、7階は、ミニ菜園や花壇で構成された屋上庭園をご用意しました。
- 屋上庭園では、日常生活で自然に触れ合う機会を大切に、草花や野菜を育てることにより楽しみや生きがい、心身の安定へとつなげていきます。



インターネットLAN回線のコネクター  
インターネットが全室で利用できます。

### 生活リハビリテーション

- 共同スペースでの他の利用者の方々との交わりも、リハビリテーションの一環です。
- 共同生活スペースのキッチンでは、皆さんと料理や簡単なお菓子作りなども行います。
- 食事・排泄・入浴・移動・レクリエーションその他、生活の全てがリハビリにつながります。

### 心地よい時間と空間に包まれた「入浴」の提供

- 病状や心身の状態に応じて、各フロアにはリフト式個別浴槽を設置しました。
- 心身の状態に配慮して、安心・安全な入浴介護を提供します。

